

宮崎工場からの輸出入物流効率化

－ 志布志港の活用 －

2024年10月30日
住友ゴム工業（株）
タイヤ事業本部 SCM本部

1. 会社概要
2. 志布志港の利用状況
3. 志布志港利用のメリット
4. 最後に

1. 会社概要

2. 志布志港の利用状況

3. 志布志港利用のメリット

4. 最後に

■企業概要

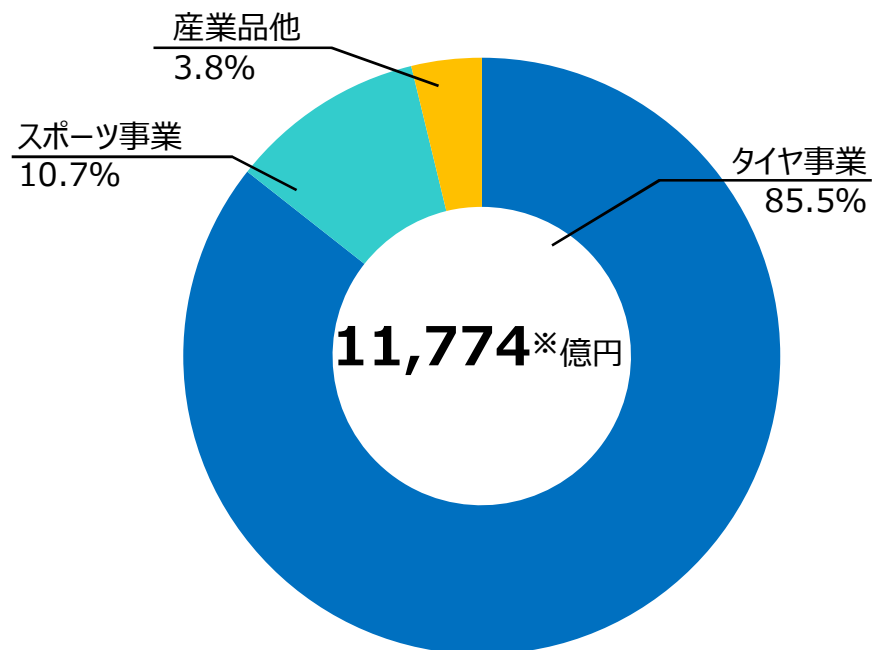
社 名 : 住友ゴム工業株式会社
 所 在 地 : 【本社】兵庫県神戸市中央区脇浜町3-6-9
 【東京本社】東京都江東区豊洲3-3-3
 連結子会社数 : 100社(うち国内27社)
 連結従業員数 : 39,975名



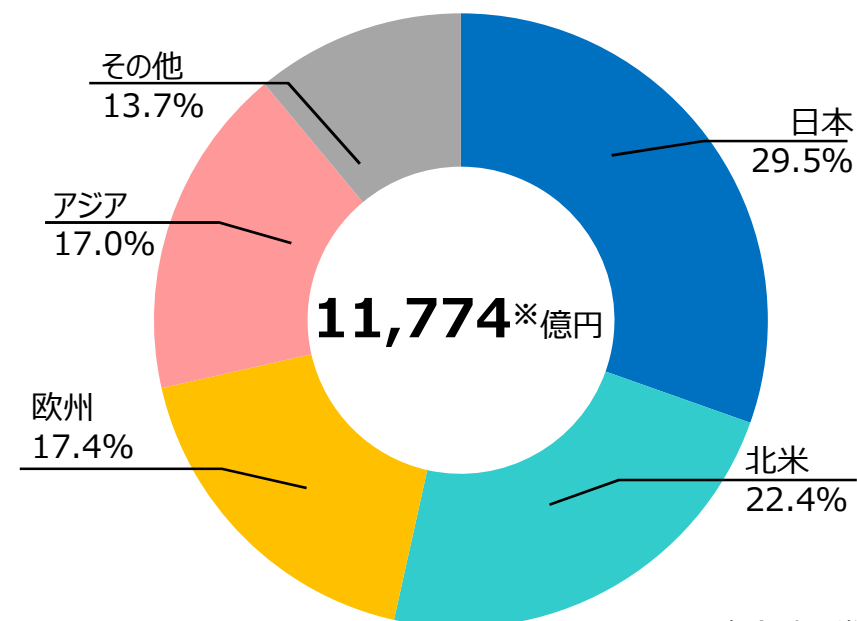
〈2023年末〉

本社

■売上収益: 事業セグメント別 (2023年12月期)



■売上収益: 地域別 (2023年12月期)



※国際会計基準(IFRS)

■ 基幹事業

タイヤ事業



スポーツ事業



産業品事業



■ 国内・海外主要工場所在地（タイヤ）



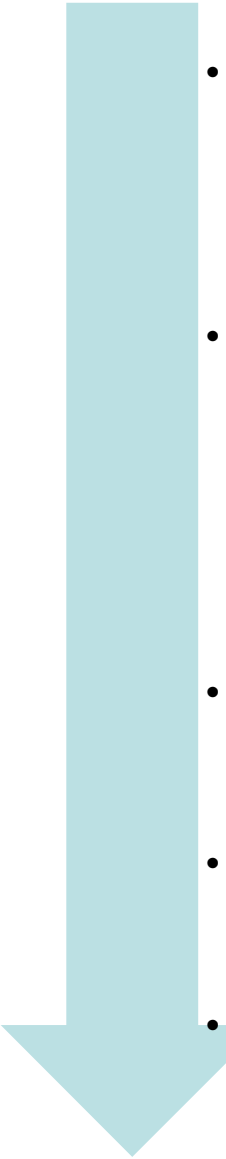
1. 会社概要

2. 志布志港の利用状況

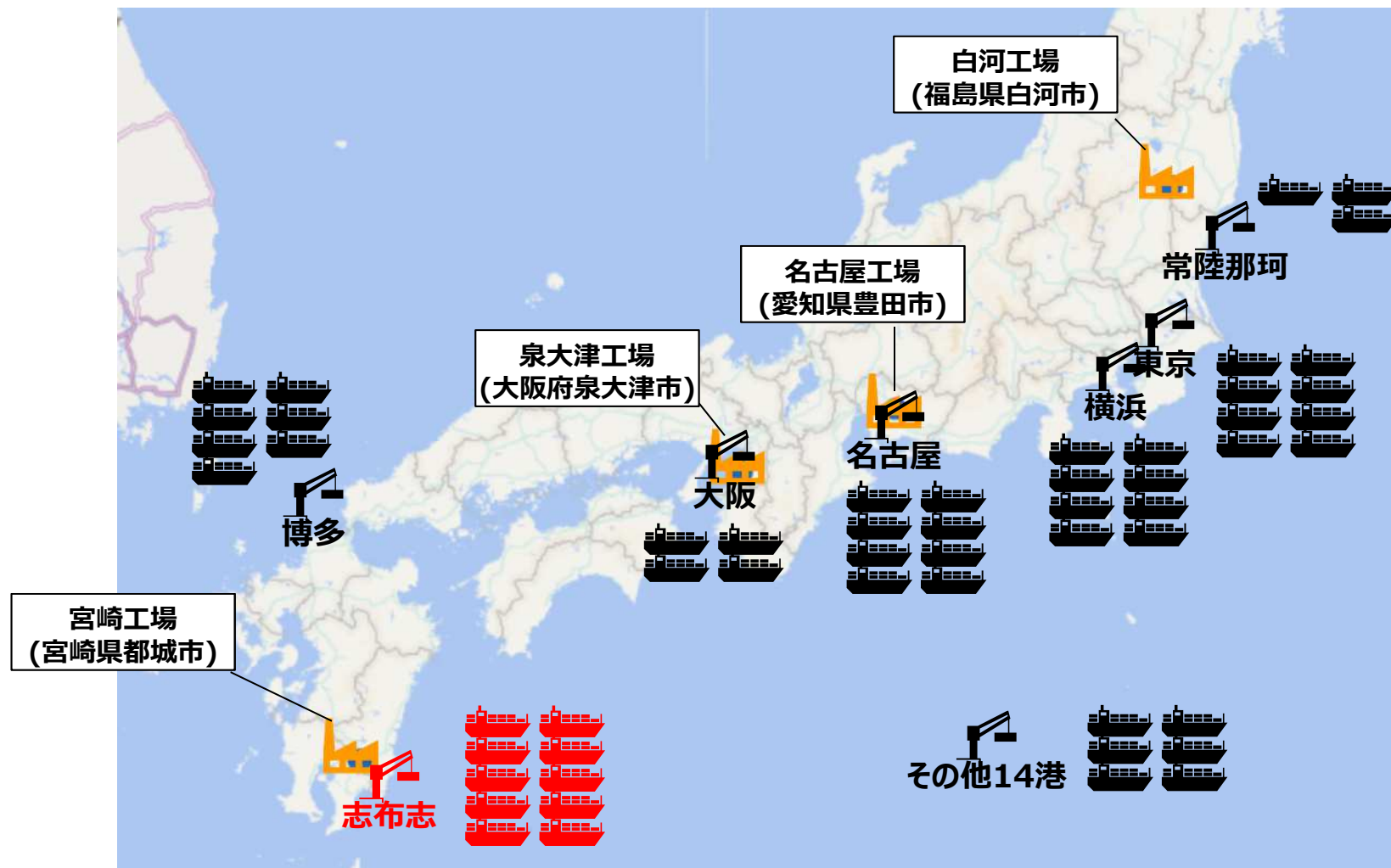
3. 志布志港利用のメリット

4. 最後に

志布志港利用の沿革

- 
- ・2001年 志布志港⇄大阪港⇄米国
海上コンテナとフェリーによる複合輸送で利用開始
 - ・2002年 志布志港定期コンテナ船就航
インドネシア発天然ゴムの輸入港を門司から志布志に変更
米国向けタイヤ輸出 志布志港からコンテナ船にて輸出開始
 - ・2016年 中近東向けタイヤ輸出開始
 - ・2023年 弊社内港別利用量で1位に(シェア18%)
 - ・2024年 1-6月でシェア22%まで拡大

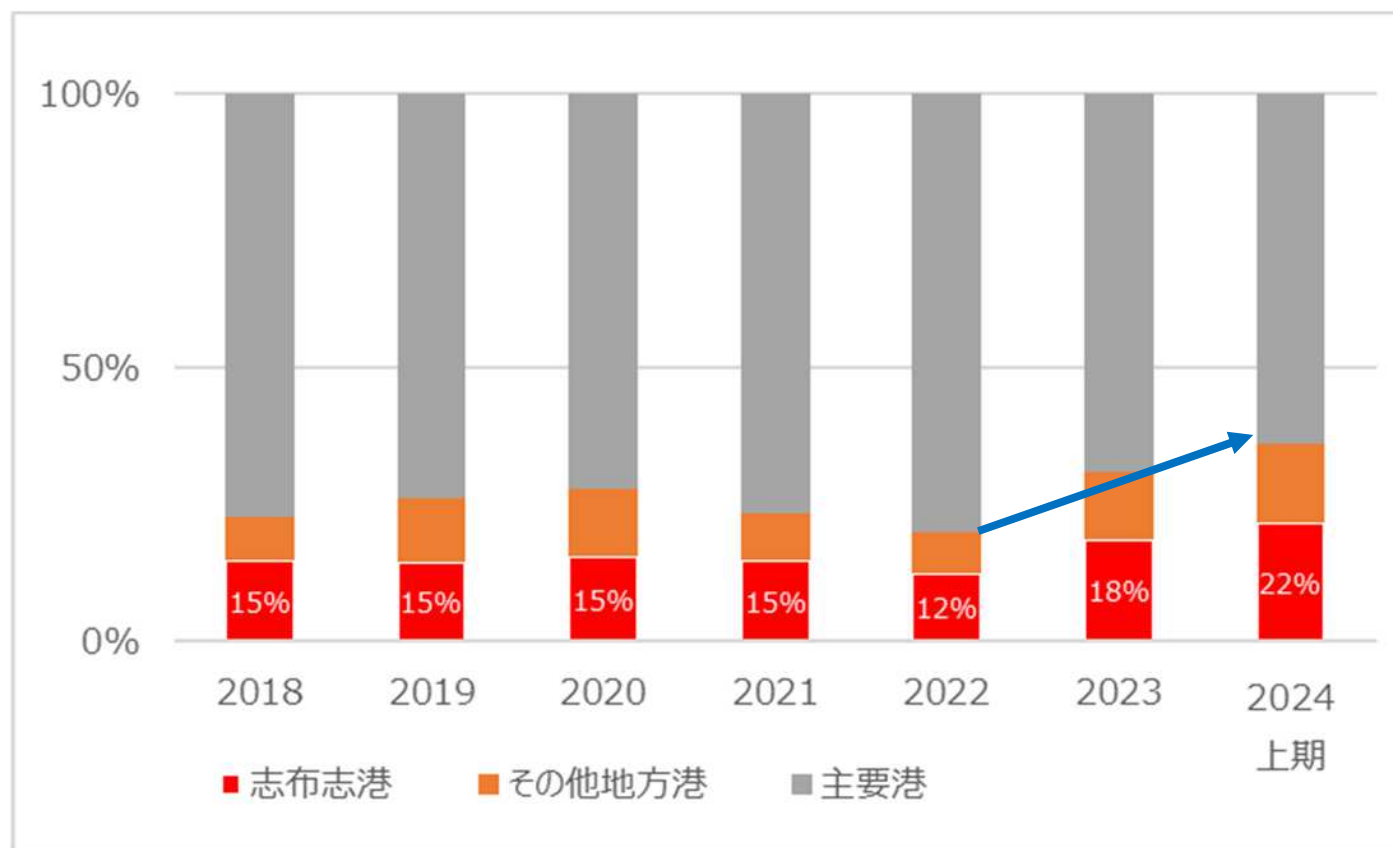
2023年 海上コンテナ港別利用量



製品輸出・原材料輸入は工場近隣の港、製品輸入は荷受倉庫近隣の港を利用しています。

宮崎工場からの製品輸出が多く、港別では志布志港の利用が最大となっています。

志布志港の利用推移



これまで弊社では継続的に地方港の利用を増やしてきましたが、2021～2022年は海上輸送の混乱、コンテナ不足により縮小せざるを得ない状況となりました。

2023年以降は海上輸送の正常化により、地方港シフトを再加速しています（特に志布志港からの輸送）。

1. 会社概要

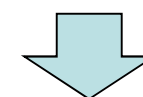
2. 志布志港の利用状況

3. 志布志港利用のメリット

4. 最後に



宮崎工場からの輸出入を志布志港に切り替え、
輸送距離は約1/6に短縮、3時間削減



- ① 距離短縮と高規格道路使用による燃費効率アップにより、CO2排出量85%削減
- ② 持続可能な輸送の構築（2024年問題対応）



都城志布志道路の
全面開通によりさらなる
時間短縮が期待される

参照：都城市公式HP

さらなる利用拡大に向けて

	課題	今後の見通し
インフラ	志布志-都城間の道路整備	2024年度中に都城志布志道路（無料高規格道路）が 全線開通予定
	港のコンテナ蔵置キャパシティ拡大	志布志港国際コンテナターミナルの コンテナ蔵置エリア拡大予定 ➡今後工場からより大量・安定的な出荷が可能になる
海上輸送 サービス	志布志に寄港する船社・ルートが増加	船社様と協議中
	コンテナ需給の安定化	船社様と協議中
出荷物量	出荷物量の平準化	弊社内で 取り組み推進中 、2025年度より新運用開始予定

各関係者様のご協力により**現在進行形でインフラ整備が充実**しています。
 弊社では中長期的にさらに志布志港利用を増やしていく計画ですが、
 利用企業が増加することでますます環境が充実することを期待しています。

1. 会社概要
2. 志布志港の利用状況
3. 志布志港利用のメリット
4. 最後に



ご清聴ありがとうございました